

# 日本の「缶ビール」の「色」分析

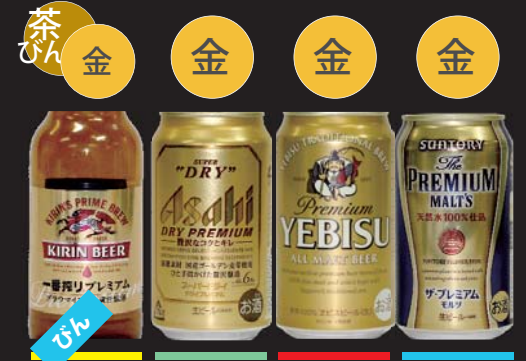
●チャーオ、シーナです。昨年くらいから缶ビールの「色」の種類が急に増えたように感じませんか？ 今までになかった「紫」「緑」など、各社が「カラフル化」に努めている様子。●一方、「プレミアム・ビール」は4社とも「金」色、あつという間に出揃った「プリン体0・発泡酒」は4社とも「青」基調など、カテゴリーによっては「決まった色」があるようです。●今回は日本の大手ビール4社の缶（一部、びんも）の色を分析してみました。各ビールの上にある色の表示は、パッと見たときの全体的・直感的な私の印象で記載してみました。

●Ciao, Sienna is here! Color variation of canned beer has much increased from around last year. "Purple" or "Green" are new colors for beer cans. Big 4 players, Asahi, Kirin, Sapporo and Suntory, seem to be trying different colors from the competitors. ● Besides, all 4 companies take same color "Gold" at so-called "Premium" segment, and take same color "Blue" at newly-born "zero-purine" segment. ● We analyze the color of Japanese beer cans packaging (and some bottles packaging, as Kirin takes only glass bottle for Premium and Craft segments). ● At this moment, there are three categories on the beer taste beverages, "Beer" (i.e. over 60% malt in Japanese regulation), "Happou-shu" (i.e. low-malt beer) and "Daisan-no-Bear" (i.e. no-malt beer). These were born along with 3 different taxation levels, however the government is planning to unify to 1 level in near future. So, items may be cut and reduced soon. "Craft by big companies" will start in 2015, so that the new packaging tide may be born. Interesting to watch how the color/design is changing. (photo & text: Sienna K. Emiri シーナ・K・エミリ)

## 「レギュラー」&「準レギュラー」のビール → 白～銀!



## 「プレミアム」のビール → 金!



## 「黒」ビール → 黒!



## 「クラフト (名称にクラフトがあるもの含む)」&「ネット限定」のビール → 色々な色!



## 「プレミアムのシリーズ品」&「プレミアム相当の位置づけ」のビール → 色々な色!



## 「変わり種」&「限定」のビール



## 「プリン体0糖質0」発泡酒 → 青!



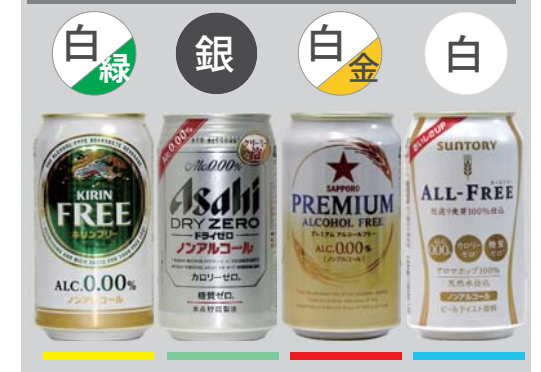
## 「オフ系 (機能系)」発泡酒 → 緑優勢!



## 「レギュラー」発泡酒 → 白!



## 「ノンアルコール」 → 白～銀!



## 「プ0糖0」第三 → まだ1本だけけど 緑&金!



## 「オフ系 (機能系)」第三のビール → 緑か金、青も健闘



## 「レギュラー」第三のビール → 金か青か、...



## シーナの私的考察

●紙幅の都合で掲載できなかったオリオンビール、それに世界の代表的ビールや清涼飲料の缶もご覧下さい。「赤い缶はコココーラかパドワイザー」「銀色に緑はハイネケン」と、世界の消費者が刷り込まれてしまっている色があります。日本では「ブルーと白の缶はポカリスエット」が多くの人に定着したパッケージ色の事例ですね。  
●日本では近い将来、「酒税の一本化」があると報道されています。「ビール」とは異なった色使い・デザインテストの「第三のビール」や「発泡酒」がその時どのように整理・統合されるのか、そして2015年から本格的に始まる見込みの「大手のクラフトビール」のパッケージの色やデザインはどうなるのか、今後も注目していきたいと思えます。

## 「オリオンビール」と「世界の缶ビール」



## 「清涼飲料の缶」



●ビールのブランド化戦略の中で、独自性のある色使いは大変重要です。「コココーラ」「パドワイザー」「ハイネケン」の色が世界中に定着するには100年かかったでしょう。日本のビールも色に関する長期戦略が必要ですね。  
●なお、「日本の地ビール」の缶ビールの色は、次のページ (FOODEX2015 プレビュー) をご覧ください。とてもカラフル! (S/E)

◎「バーチャル出演」：インターネットなどから画像を取り込んだものです。